令和７(2025)国立市立国立第二中学校

二中だより

国立二中ホームページにも掲載：国立第二中学校へアクセス

４月号
令和７(2025)年４月１５日
国立市立国立第二中学校
校長　　黒　田　宏　一
国立市富士見台３－３０
電話　５７２－２１８７

生徒の主体的な学びを深める学校をめざして！

校長　黒田　宏一

今年の春の天候は気まぐれです。

３月１９日（水）に挙行した第６７回卒業式は朝方の雨から雪模様になり、瞬く間に銀世界の儀式となりました。ですが儀式は３年生の「ありがとう」の言葉を敷き詰めた卒業式にしたいとの思いのままに、どの場面でも温かな心に満ちた感動的なものであり、素晴らしい卒業生の巣立ちでした。

一方、直後の温暖な天気に誘われるかのように咲き始めた桜の花も、その後の急激な寒暖の中、４月９日（水）に実施いたしました第６８回入学式では「当日は葉桜になっているだろう。」との予想を覆し、満開の中での新１年生の出発となりました。

さて、本年度の教育活動の柱は、「主体的、対話的で深い学び」の資質・能力を醸成すること、「一人一人がその子らしくいられる教育」の実現に向けた挑戦です。とりわけ「主体的な学び」を深めることがこれらの柱を達成するためのカギと考えています。これまで本校では、授業改善による学校風土の醸成・高める研究を進めて参りました。「授業が分かれば、授業が楽しければ多くの生徒が抱える不安を自信に変えられる。学校での居場所ができる。さらに風土が高まれば生徒の関係性が良くなる。」との仮説を立てて進めた研究が土台となっています。このことをもう一歩深め、学習はもちろんのこと、学校行事や生徒会活動等の諸活動においても「主体的な学び」「主体的な活動」を推進して参ります。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、本年度も変わらぬ御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。ここに、本年度の学校経営の方針をお知らせいたします。

≪　教　育　目　標　≫

たくましく現代に生き、平和で幸福な未来社会を創造する人間性豊かな生徒の育成をめざす
一、よく考え進んで学習する生徒　　一、思いやりをもち互いを尊重する生徒
一、自らの心と体をきたえる生徒　　一、正しく判断し実行する生徒

≪　令和７年（２０２５年）度の学校経営の重点　≫

１．令和７年（２０２５年）度の重点目標

共に学び、共に助け合い、共に生きる　「共学」「共助」「共生」の国立二中

２．指導の柱（重点）

（１）主体的な学びを高める学習指導～**共に学ぶ「共学」**
①全教職員の英知と創意工夫を結集し、主体的に学習に取り組む生徒、共に学ぼうとする生徒の育成をめざす。
②「わかる喜び」のある授業、意欲の高まる授業作りに励み生徒の自己肯定感を醸成する。
③学びの質を高めるため、授業改善を推進し、「基礎的な知識・技能」の習得に努める。
④「思考力・判断力・表現力」を育て、生徒の「学びを活用する力」の伸長を図る。

（２）規範意識を高め、互いを尊重する生活指導～**共に助け合う「共助」**
①率先して全教職員が、生徒の模範となる行動・教育活動の実践を行う。
②生徒一人一人に寄り添い、生徒が安心して生活できる（居心地の良い）場を作る。
③特別の教科「道徳」の授業を要として教育活動全般を通じて心の教育の充実に努め、「感謝・思いやりの心、共助の精神」を育み、共に助け合う生徒の育成をめざす。

（３）互いを認め合う特別活動～**共に生きる「共生」**
①限られた時間の中で、生徒が主体となって活動する学校行事、生徒会活動等の充実を図り、生徒の「自分たちの学校」との意識を高める。
②全教員が力を合わせ学級経営、学年経営の充実を図り、温かな人間関係を構築する。
③学校教育の一環としての部活動等を通して、自主的・自律的運営力の育成を図る.

（４）特別支援教育の充実～**共に生きる「共生」**
①特別支援学級「A組」の円滑な運営と「交流及び共同学習」を推進する。
②特別支援教室「かがやき」の円滑な運営と全教員の連携強化を図る。
③「一人一人がその子らしくいられる教育」の実現に向けた、適切な支援の充実を図る。